

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 7 月 14 日作成 第 1.0 版

研究課題名	精神疾患関連の救急搬送の実態変化に関する記述研究 —神奈川県におけるパンデミック前後の地域別分析—
研究の対象	神奈川県が保有する県内の救急搬送データ実績を用いて、2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間に救急搬送された患者さんのうち、傷病名が精神系の患者さん、または事故種別が自損行為の患者さんを対象とします。
研究の目的	神奈川県内で救急搬送され、精神系疾患と診断された患者さん、ならびに自損行為で搬送された患者さんを対象に、COVID-19 パンデミック前後における搬送実態の変化を地域別に記述・比較することを目的としています。
研究の方法	神奈川県が保有する県内の救急搬送実績データを用いて、COVID-19 パンデミック前後における精神疾患と診断された患者さん、または自損行為による救急搬送の実態の変化を調べます。具体的には、搬送件数、搬送に要した時間、搬送先医療機関の種別、搬送困難事案件数といった搬送実態に加え、年齢や性別などの患者さんの背景を通じて、搬送される層の構成変化についても調査を行い、二次医療圏単位での地域差も検討します。過去に得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 20 年 月 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 20 年 月 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の 項目	【情報】神奈川県が保有する県内の救急搬送実績データから、以下の情報を収集します。 (1) 背景情報：年齢区分、年齢（傷病）、性別（傷病）、居住地、介護情報 (2) 搬送情報：事故種別（出場）、発生年月日（出場）、曜日、時刻経過、入電、現場到着、病院収容、病院収容.1、HOUR、時間帯、入電から収容時間、出場現場距離、現場病院距離等 (3) 搬送機関：搬送機関：選定：選定所要時間、搬送機関：選定：決定までの連絡回数等 (4) 診断情報：傷病名：傷病名、傷病名
試料・情報の 授受	本研究では、「研究組織」に記載されている「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から情報の提供を受けて実施します。「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から提供を受ける際は、情報を USB に保存し、パスワードをかけた状態で引き渡しされます。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	本研究は、「既存試料・情報の提供のみを行う機関」より個人を特定できる情報を含まないデータセットの提供を受けますので、本学では個人を特定することができません。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	本学の個人情報の管理責任者は理事長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 清水 沙友理

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は資金を要しない研究であり、必要時は研究責任者が負担して実施する研究です。本研究で開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 清水 沙友理 【既存試料・情報の提供のみを行う機関と責任者】 神奈川県健康医療局保健医療部医療企画課 豊田新吾
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。本学で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。	
問合せ先 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻（研究責任者）清水 沙友里 （問い合わせ担当者）品川 麻悠子 電話番号：045-787-2311（代表）	